

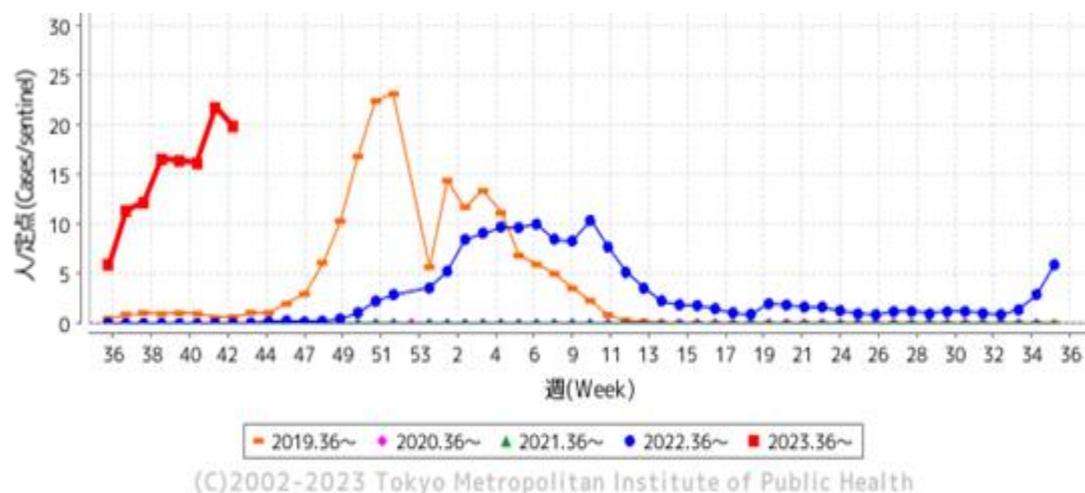
ほけんだより 12月号

令和5年11月29日
国立保育園
園長 中澤 ゆう子
看護師 杉山

早いもので、今年もあと一か月となりました。忙しい年の瀬ですが、下痢や嘔吐、インフルエンザなどの感染症が流行するのもこの時期です。園では、こまめな手洗いや換気を行い、感染予防に努めています。ご家庭でもお子さまの体調管理には十分な配慮をお願いします。

今年のインフルエンザは流行中！

東京都では、2023年2月にインフルエンザ注意報が出されていましたが、その後の流行が収まらないまま今シーズンが始まり、シーズン開始時の感染報告数としては過去最多になりました。



昨シーズンのインフルの流行は、新型コロナウイルス感染症の流行が20年に始まって以降、3年ぶりでした。今シーズンも流行が続いていることについて、新型コロナの5類移行に伴って感染対策が緩んだことや、一定期間インフルが流行しなかったために免疫が下がったことなど、流行しやすい状況が続いていると指摘する専門家もいます。

日本感染症学会は「ワクチン接種と、手洗いや咳エチケットを心がけて」と呼びかけています。調子が悪い時は、無理せず医師の指示を仰ぎ、体をしっかり休めましょう。

◎インフルエンザと診断をうけたら・・・「発症後5日を経過し、かつ、解熱後3日を経過するまでは出席停止」となります。医師の診断を受けた後、インフルエンザ専用の登園届の提出が必要です。(保護者記入)園のホームページからダウンロード可能です。

【11月の感染症】

- 溶連菌感染症 1名
 - アデノウイルス 1名
 - 新型コロナ感染症 1名
- その他、咳や発熱の症状が多くみられました。



【12月の保健行事】

- 11日(月) 後期口腔衛生指導
- 14日(木) 1.2歳児身体測定
- 15日(金) 3.4.5歳児身体測定

